

◇ 会 長 挨拶

供用が開始される本年度の利用者懇談会の活動

SPring-8 利用者懇談会会長

菊田 惺志

今期も引き続き会長の務めを果たすことになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

本年はSPring-8が建設フェーズからいよいよ利用フェーズに入っていきますが、利用が始まるところまでは務めるようにとのお達しと存じ、SPring-8の円滑な利用とそれを通した放射光科学の発展をめざしてもう一息、微力を尽くしますので、会員各位のご協力、ご鞭撻をお願いいたします。本年度の運営委員のメンバーは9頁に掲載されているとおりです。顧問と幹事をお願いしている方々が同じ項に載っています。これらの先生方とともに利用者懇談会の利用フェーズでの望ましいあり方をつくりあげるように努めたいと思います。3月25日にSPring-8の蓄積リングで電子ビームの蓄積に成功し、その翌日に放射光ビームラインでの放射光の発生を確認したとの速報に皆様も接したことと思います。この快挙をもたらしたご関係の方々のご努力に敬意を表します。建設が順調に進んでいることを明確に示しており、ユーザーとしてもうれしい限りです。いよいよ放射光利用が目前に迫ってきたことを実感します。

このような状況の中での利用者懇談会の活動は、基本的なスタンスは従来と変わりませんが、SPring-8が建設フェーズから利用フェーズへ移行してきますので、当然それに対応した体制になります。10月の供用開始に向けて10本の共用ビームラインに関わるサブグループはその実験ステーションの建設に協力していますが、試用実験を経て本格的な放射光利用研究へと進むことになります。この第1期のビームラインの建設に続いて第2期の準備作業も進んでいます。さらにその先に関してはサブグループでの計画の精緻化の作業が望まれます。第1期のビームラインの立ち上げの作業にあたり、担当のサブグループの建設チームは機器整備の段取り、作業環境、生活環境などについて多くの要望をもっていますので、随時その対応を共同チームに要請していきます。供用が始まってからのいろいろな要望についても同様に対応していきたいと思います。

各放射光施設の放射光利用研究の成果は放射光コミュニティでの申し合わせにより放射光科学合同シンポジウムにおいて報告することになっています。SPring-8に固有の検討課題はSPring-8シンポジウム（仮称）において議論されます。昨年、供用開始当初にどのような研究に挑戦するかを主題としたシンポジウムを開きましたが、それがSPring-8シンポジウム（仮称）の第0回に位置づけられるものです。本年度についてみますと、来年1月の放射光科学合同シンポジウムとSPring-8利用者懇談会総会において10月の供用開始で得られはじめる研究成果の速報的なものが紹介されると思います。また7月には蓄積リングの試運転の状況や得られた放射光の特性に関する報告会がある予定で、8月にはSRI'97が

開催されます。このようなことですので、第1回のSPring-8シンポジウム（仮称）は放射光利用研究が軌道に乗り始める来年度に開催してはどうかと検討しています。

研究課題別サブグループは35チームありますが、利用フェーズに入ってからでも存続させることになっています。建設に携わったサブグループは実験装置に関して精通していますので、その実験ステーションでの放射光利用研究を踏まえて、実験ステーションの高度化に寄与します。さらに利用研究の拡大、将来展望なども行っていきます。広報誌「光彩」は建設フェーズで情報交換に役立ってきました。利用フェーズでは省力化、効率化を目論んで「SPring-8 利用者情報」にマージさせてもらいます。

いよいよ10月から供用開始になりますので、PFの立ち上げの頃が思い出されます。PFの放射光源の特性は当初マシンースタディを積み重ねて徐々に向上していきました。実験ステーションの整備も若干遅れ気味の中でのスタートでした。それでも従来使用していたX線管からのX線と強度が格段に違うのを目の当たりにして興奮したものでした。PFは第2世代のX線領域専用リングとしては世界で最初のものでしたが、すでに第1世代の寄生リングが実績を上げていましたので、できるだけ早く実験を軌道に乗せたいという気持ちで張り切っていました。今回もこれに似た状況になると思われます。前回と違うのはすでに放射光利用のノウハウを蓄積していることです。第3世代の2施設がすでに先行して稼動していますので、SPring-8は実験ステーションの機器の充実を図りつつ、本格的な研究に早急に入っていくことが期待されます。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

◇ 顧 問 換 拶 ◇

SPring-8稼働を目前にひかえて

姫路工業大学 理学部
安岡 則武

1997年10月からSPring-8の供用が開始されます。1998年3月までの利用課題の審査が行われ、採択された課題が発表されました。放射光コミュニティの研究者が手ぐすね引いてその日の来るのを待っています。このような節目の年にSPring-8利用者懇談会の顧問を引き受けるよう要請されました。もとより微力ではありますが誠心誠意勤めさせていただきます。よろしく願い申し上げます。

大型放射光施設を作りたいという動きが生まれてからすでに十数年が経過しています。